

令和3年度



学校だより
9月号

令和3年9月1日

かわかみ

横浜市立川上小学校

横浜市戸塚区秋葉町203-2 電話 811-9345 FAX811-5961

夏休みを終えて ～学校再開 安全・安心な学びづくりを目指して～

学校長 堀部 尚久

厳しい暑さで始まった夏休みが続く休校措置が終わり、今日から学校再開です。猛暑に加えて記録的な大雨、そして何よりも新型コロナウイルス変異株の感染急拡大による緊急事態宣言発令期間の延長など、この夏は、大きな自然災害による被害や痛ましい事件事故による被害とともに、日々の感染者数や医療の逼迫状況の推移の報道が尽きない夏休みでした。本校の子どもたちにおいては、大事に至ったという報告もなく、分散登校ではありますが、今日の夏休み明け登校を迎えることができました。この間保護者の皆様をはじめ、常に温かく見守りお世話をいただきました地域の皆様には、心から感謝申し上げます。また、この度の休校措置による夏休みの延長、分散登校に関する学校の対応が、唐突なお願いである上に種々の変更が生じたことに対し、お詫びを申し上げるとともに、ご理解とご協力をいただきましたことに重ねて感謝申し上げます。

今回の学校再開は、感染力の強いデルタ株が猛威を振るう中でもあり、子どもたちへの感染拡大への懸念もこれまで以上に大きく、警戒を強化する必要があります。本校においても、横浜市のガイドラインに基づき、子どもの活動場面の具体を改めて想定し直し、教室等の密を減らし、換気の徹底や消毒機会の拡大等をはじめとした感染防止のギアを上げた対策を講じ、夏休み明けの学びづくり生活づくりを進めていきたいと思っております。したがって、今後しばらくは、従来の対策に加えて多岐に渡る新たな対策を実施することになります。子どもたちには、具体的な場面に即して指導しますが、保護者の皆様には、適宜学校からの発出文等をご確認の上、当面の間の措置とともに継続的な措置に対してのご理解とご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

さて、この夏の世界中の話題として、「東京オリンピック2020」「東京パラリンピック2020」が挙げられます。この時期の開催に対しての意見は様々でしたが、「悲願のメダル」「歴史の扉をこじ開けた勝利」「メダルラッシュの快挙」等、連日のように日本選手の活躍ぶりは様々な形で報道され、その一つひとつのドラマは、私たちにたくさんの勇気や希望を感動として与えてくれました。勝者としてのメダリストとなった選手、あと一步メダルには届かなかった選手、また、世界の壁の高さや大きさを実感させられた選手たちからは、「勝つ喜び、負ける悔しさ」を超えた「輝き」を教えてくださいました。世界の頂点での舞台上で感じたこと、これまで磨いてきた力を発揮できるように挑戦したこと、粘り強く最後まで諦めず一生懸命にやり抜き通したこと。こうした選手の姿からは、「自分のために頑張ること、楽しむこと」以上に、「自分を支える誰かのために頑張ること」の尊さが伝わってきました。選手たちの輝く姿は、オリンピック・パラリンピックならではのアスリートとしての「輝き」であり、そこから伝わってくる感動の重みは、手にしたメダル以上のものであったかと思われまます。本校の子どもたちも、恐らくはこうした選手たちの「輝き」を、それぞれが心を揺さぶられた感動として受け止めたに違いありません。テレビの視聴を中心とした競技観戦ではありましたが、競技中の選手の姿や競技後の言動が子どもたちの糧となり、自分の「輝き」や学校の「輝き」に繋がるかけがえのないロールモデルとなることを願って止みません。

これからもまだしばらくは、感染拡大防止の情勢によって教育活動の変更を余儀なくされることとなりますが、感染拡大防止の基本対策の徹底と新たな追対策による感染拡大防止の強化を子どもたちに指導し、本校の学びを重ねてまいります。厳しい状況が続く、保護者の皆様のみならず、子どもたちの不安も大きいものと懸念されます。また、そうした中で子どもたちが学校生活のリズムを戻すまでには、時間がかかることもあるかと思っております。子どもたちの不安を軽減し、安全・安心を守り、笑顔でたくさんの「輝き」が共有できる学校生活を送れるよう教職員一同さらに気持ちを引き締めて指導・支援に取り組む所存です。地域の皆様には、本校の教育活動へのご理解をいただくとともに、保護者の皆様には、ご家族並びに子どもたちの健康観察や感染拡大防止に向けた家庭での対策の実行等、生活習慣の再確認や声掛けを、どうぞよろしくお願いいたします。